

## ふるさと講座・自然系第1回目 シギ・チドリ観察会！

この時期数多く見られる「シギ・チドリ」を中心とした観察会を行います。

- 日 時 平成27年5月9日（土）  
午前9時30分～12時30分
- 場 所 野付半島  
(集合ー野付半島ネイチャーセンター2 階)
- 講 師 別海町立 野付中学校 校長 藤井 薫 氏
- 定 員 15名（電話・FAX・メールにて氏名・電話番号を  
5月8日（金）までにご連絡ください。）
- その他 長靴を着用ください。図鑑・双眼鏡をお持ちの方は  
持参ください。当館でも若干貸出しします。



ハマシギ



ミュビシギ

## ふるさと講座・歴史系第1回目を実施しました。 歴史の道を歩く！江戸時代のハツケ ～野付通行屋跡・番屋跡遺跡

- 日 時 平成27年4月18日（土）  
午前9時30分～13時
- 場 所 野付半島ネイチャーセンター、  
野付通行屋跡・番屋跡遺跡
- ガイド 別海町郷土資料館 石渡一人  
野付半島ネイチャーセンター  
石下垂衣紗
- 参加者 24名

野付半島ネイチャーセンターで40分ほどレクチャーを行いました。その後、通行屋跡遺跡入口まで車で移動し、そこから約2km歩きます。オジロワシ・ヒバリ、ヒドリガモなどの野鳥、エゾシカの群れを観察しながら遺跡に到着しました。土塁、墓石、建物跡、畑の畝跡などを実際に見ながら、江戸時代の様子に思いを馳せました。



## 別海町農業の変遷をたどるジオラマを作成しました。

郷土資料館では、「昭和初期の開拓農家」（1930～）「パイロットファーム」（1956～）「新酪農村事業」（1973～）と、大きな変遷を受け発展した別海町の農業の様子を紹介するためにジオラマを作成しております。この度、第2弾の「パイロットファーム」が完成し展示公開しております。第1弾の「昭和初期の開拓農家」と合わせてご覧いただければ幸いです。



昭和初期の開拓農家



パイロットファーム

## シリーズ「近世の別海を探る 野付～その13」(最終)

### イトシノツ

文献史料での表記は、「イトシノツ」「イトシノチ」があります。松前藩復領時代 文政4年(1821)～安政元年(1854)の文献史料からこの地名が登場します。

『初航蝦夷日誌』松浦武四郎 弘化2年(1845)

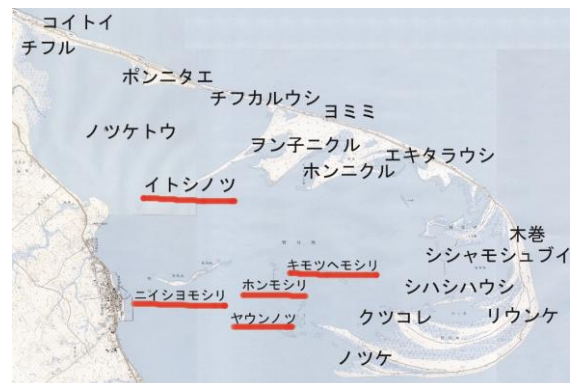
『古人の邑噺 嘉永七甲寅年閏七月〔子モロ場所〕』加賀伝蔵 嘉永7年(1854)

『竹四郎廻浦日記』松浦武四郎 安政3年(1856)

『根室旧貫誌』喜多野省吾 安政5年(1858)

#### ・イトシノツの様子

「…出岬ニツアリ近キ者ヲ「イトシノチ」…」『勸国録』石川和助 安政4年(1857)



### ○ヤウンノツ(現在のヤウンノウ)、キモツヘモシリ(現在のキモツペモシリ)、ホンモシリ(現在のボンモシリ) ニイシヨホンモシリ(現在の新所の島)

野付湾に点在する島の名前です。松前藩復領時代 文政4年(1821)～安政元年(1854)の文献史料からこの地名が登場します。

『東西蝦夷山川地理取調紀行 東蝦夷日誌』松浦武四郎 安政3年(1856)

『戊午第十八巻東部志辺都誌』松浦武四郎 安政5年(1858)

『東西蝦夷山川地理取調図十四』松浦武四郎 安政6年(1859)

別海町郷土資料館だより No.190

発行日 平成27年5月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

### 編集後記

あっという間の4月でした。雪も大方融け、いよいよフィールドに出かける季節になります。だいぶ体力が落ちてきている年齢となりましたが、あっち、こっちに今年度も出たいと思います。館の資料もかなり充実してきました。ぜひ、ご来館ください。(K.I)